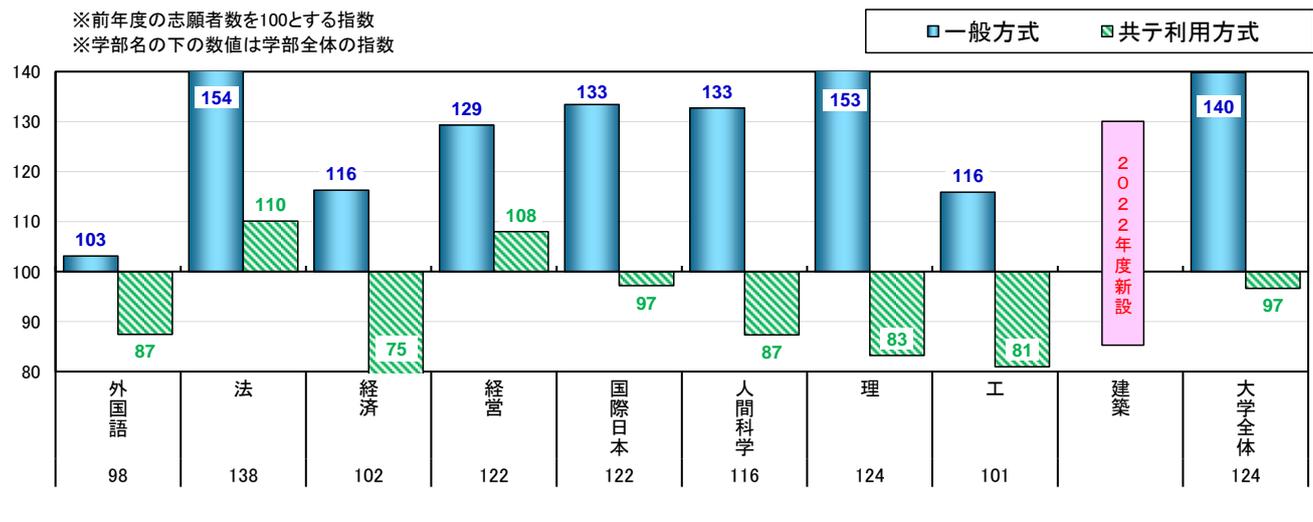


神奈川大：大学全体では大幅増加、給費生試験の日程変更で4,000人近く増加 一般：+6,077人 共テ：-303人



入試変更点

学部改組：工(物質生命化、機械工、情報システム創成、建築、電気電子情報工、経営工、総合工)
→工(物質生命化、機械工、情報システム創成、電気電子情報工、経営工、総合工)
建築(建築、都市生活)

入試科目：工(物質生命化)…〈一般・A方式〉数+理+外 ※数：数I+数II+数III+数A+数B
→数+理+外 ※数：数I+数II+数A+数B (数III除外)

入試日程：〈給費生〉…2月実施→12月実施 ※コロナ禍対策による日程変更を2020年度以前に戻した。

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、5,774人(124)の大幅増加。志願者数は、前年度は4年ぶりに2万人台だったが、再び3万人を上回った。学部別では、系統への人気低下している外国語(98)を除く7学部で増加。特に、建築は旧工(建築)を学科から学部へ改組した効果で、志願者数は984人→2,547人へ1,563人(259)の約2.6倍増だった。これに伴い、工は募集人員が86人(17%)減少したが54人(101)の微増で、志願倍率は9.9倍→12.1倍にアップ。方式別では、一般方式は6,077人(140)の大幅増加。特に〈給費生〉は、前年度コロナ禍対策として試験日を12月から2月に変更した影響で激減したが、試験日を12月に戻したことで3,931人(216)の倍増以上。〈給費生〉を除いた一般方式は2,146人(118)の大幅増加。共通テスト利用方式は303人(97)のやや減少で2年連続減少、共通テスト受験前に出願締め切りとなる〈共テ・前期〉(96)はやや減少、一方で、共通テスト受験後に出願可能な〈共テ・後期〉(147)は大幅増加。共通テスト平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。

〈一般方式〉

- 外国語(103)は、2年連続大幅減少の反動はなくやや増加に留まった。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(88)の減少で、コロナ禍の影響で系統への人気低下している影響が見られた。学科・プログラム別では全てが減少。特に、(英語英文/GES)(63)は30%以上の大幅減少が目立った。
- 法(154)は、系統への人気の高まりで大幅増加。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(129)の大幅増加。学科別では、(自治行政)(136)、(法律)(126)のいずれも大幅増加。
- 経済(116)は、大幅増加。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(96)のやや減少。学科・専攻別では、(経済/経済分析)(118)は大幅増加、(現代ビジネス)(103)はやや増加。一方で、(経済/現代経済)(91)は減少で4年連続減少。
- 経営(129)は、大幅増加。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(113)の増加。方式別では、〈前期A〉(133)は大幅増加。一方で、〈前期B〉(78)、〈後期A〉(82)は大幅減少でいずれも前年度大幅増加の反動。
- 国際日本(133)は、コロナ禍の影響により系統への人気は低調だが、大幅増加。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(104)のやや増加。学科別では、(国際文化交流)(90)は減少で2年連続減少、(歴史民俗)(96)は前年度半減以下に引き続きやや減少。一方で、(日本文化)(143)は大幅増加。
- 人間科学(133)は、大幅増加。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(108)の増加。方式別では、〈前期A〉(111)は増加、〈後期A〉(86)は2年連続増加の反動で減少。
- 理(153)は、大幅増加。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(129)の大幅増加。学科・プログラム別では、(総合理学プログラム)(105)はやや増加、その他の学科・プログラムはいずれも大幅増加。
- 工(116)は、大幅増加。入試日程変更の影響が大きい〈給費生〉を除くと(105)のやや増加。学部改組で募集人員は17%減少で、志願倍率は9.2倍→12.8倍へアップ。学科・プログラム別では、(経営工)(114)は増加だが、その他の5学科・プログラムはいずれも大幅増加。
- 建築は新設だが、旧工(建築)との比較では志願者数は651人→1,808人へ1,157人(278)の約2.8倍増。志願倍率25.8倍は全学部中で最も高倍率。

〈共通テスト利用方式〉

- 外国語(87)は、〈共テ・前期〉のみの募集だが、コロナ禍による系統への人気低下で3年連続大幅減少。志願者数は500人を下回った。学科別では、(中国語)(60)の大幅減少が目立った。
- 法(110)は、〈共テ・前期〉のみの募集だが、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、(自治行政)(133)は2年連続減少の反動で大幅増加、(法律)(101)は前年度大幅減少の反動はなく、微増に留まった。

- 経済(75)**は、〈共テ・前期〉のみの募集だが大幅減少で4年連続減少。学科・専攻別では、3学科・専攻とも大幅減少し、特に(経済／経済分析)(41)の大幅減少が目立った。
- 経営(108)**は、4年ぶり増加。方式別では、〈共テ・前期〉(105)は3年連続減少の反動でやや増加、〈共テ併用・前期〉(117)は大幅増加で、前年度の反動による増減が継続。共通テスト実施後に出願可能なく共テ・後期〉(142)は大幅増加で共通テスト平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
- 国際日本(97)**は、〈共テ・前期〉のみの募集だがやや減少。コロナ禍による系統への人気低下で2年連続減少。
- 人間科学(87)**は、〈共テ・前期〉のみの募集だが前年度大幅増加の反動で減少。
- 理(83)**は、2年連続増加の反動で大幅減少。方式別では、〈共テ・前期〉(81)は2年連続増加の反動で大幅減少、〈共テ併用・前期〉(90)は前年度大幅増加の反動で減少。共通テスト実施後に出願可能なく共テ・後期〉(140)は大幅増加で共通テスト平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
- 工(81)**は、大幅減少で2年連続減少。学部改組で募集停止となった(建築)を除いても(96)のやや減少。方式別では、〈共テ・前期〉(80)は大幅減少で2年連続減少、〈共テ併用・前期〉(83)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。共通テスト実施後に出願可能なく共テ・後期〉(106)はやや増加で共通テスト平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした追加出願の増加も影響。
- 建築**は新設だが、旧工(建築)との比較では志願者数は333人→739人へ406人(222)の約2.2倍増。志願倍率は16.4倍と全学部中で最も高倍率。